

# 質 疑 要 旨

荒木博文議員 No. 1

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
<p>1 能登半島地震からの復旧・復興について</p> <p>(1) 知事の被災地入りについて、なぜこのタイミングとなったのか、具体的な判断プロセスと理由を明確に説明する責任があると考えるが、所見を聞く。</p> <p>(2) 復興と未来への挑戦に向け、知事の強い決意と県民に寄り添い共に問題解決に当たるという強い意志を聞く。</p> <p>2 不登校支援について</p> <p>(1) 県教育支援センターの機能強化について</p> <p>ア 不登校の原因の複雑化・多様化を踏まえ、「心の安全基地」として機能を抜本的に強化してはどうか。</p> <p>イ アクセスが困難な子どもたちなど、すべての子どもに支援を届けるための具体的な取組を聞く。</p> <p>(2) 専門人材の確保・育成と多職種連携の強化について</p> <p>ア 専門職の配置・増員計画及び教職員全体の専門性を底上げする具体的な方策を聞く。</p> <p>イ 関係機関の情報共有と連携ルールを再構築し、学校の枠を超えて子どもの複合的な課題に迅速に対応できる地域一体型の支援体制をどのように構築していくのか。</p> <p>(3) 長期的な不登校予防の強化について</p> <p>ア 不登校の初期段階で迅速に介入できるよう、全教職員に対する早期発見・早期対応のための研修を義務化してはどうか。</p> <p>イ オンライン学習や自宅学習、フリースクールなど多様な学びを出席扱いとする弾力的運用の更なる推進と、学力評価や進学において不利とならないような保障措置について考えを聞く。</p>	<p>知 事 危機管理部長 復旧・復興推進部長</p> <p>教 育 長</p>
<p>3 「成果連動型介護報酬」モデルについて</p> <p>(1) 要介護度改善等の成果に対して事業者にインセンティブを付与する取組の有効性をどのように認識しているのか。また、本県で導入する場合、どのような課題や障壁があると認識しているのか。</p> <p>(2) 課題の克服に向け、調査・研究チームを立ち上げてはどうか。具体的なステップと、その是非を判断するロードマップを聞く。</p>	<p>知 事 健康福祉部長</p>

この質疑要旨は、12月10日午後7時に取りまとめたものです。

# 質 疑 要 旨

荒木博文議員 No.2

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
<p>4 サイバー犯罪対策について</p> <p>(1) 今後のサイバー犯罪の増加と高度化を見据え、専門人材をどのように確保・育成していくのか。</p> <p>(2) 迅速な初動捜査と証拠保全・被害拡大防止を確実にを行うため、どのような取組を推進しているのか。</p> <p>(3) 全国的なサイバー犯罪の動向・課題を踏まえ、サイバー犯罪対策にどのように向き合っていくのか。</p>	警 察 本 部 長
<p>5 県立あすなろ中学校について</p> <p>(1) 夜間中学が提供する学び直しの選択肢は、国民の教育を受ける権利をどのように具体化するものと考えているのか。夜間中学の本質的意義について、現在の教育に対する知事の熱い想いを聞く。</p> <p>(2) 夜間中学の全国的な課題をどう分析し、先進的に開校している他の都道府県からどのようなノウハウや生徒募集策を取り入れ、運営に反映させていく考えか。</p> <p>(3) 既存の教員免許制度や研修制度ではカバーしきれない夜間中学教員としての専門性を育むため、どう取り組むのか。</p> <p>(4) 地震により特に経済的・心理的に困難を抱える被災者に対し、学びの場としてどのような役割を果たすことができると考えているか。被災者を対象とした特別な受入体制や柔軟な対応について、どのような検討を進めているのか。</p> <p>(5) 民生委員、福祉部局、ハローワークなど、他部局や地域団体と連携し、学び直しが必要な人に夜間中学の情報を届けるための、具体的なアウトリーチ戦略や効果的な広報手段を聞く。</p>	知 事 教 育 長
<p>6 食文化の継承・発展について</p> <p>(1) 本県から全国初となる「食の人間国宝」が輩出される可能性があるが、知事の思いを聞く。</p> <p>(2) 「食の人間国宝」を全国に先駆けて輩出するため、県として、加賀料理の卓越した料理人を対象に調査・研究を行い、その成果を国に提供してはどうか。</p> <p>(3) 加賀料理の担い手の確保・育成について具体的な取組を聞く。</p>	知 事 徳 田 副 知 事 商工労働部長 教 育 長

この質疑要旨は、12月10日午後7時に取りまとめたものです。